

The Christian and Missionary Alliance の本部はコロラド州コロラド・スプリングスにある。1887年に創設された。創設者は長老派の牧師（Presbyterian clergyman）であった Dr. Albert B. Simpson。彼は福音主義と聖書の教えを北アメリカや聖書の教えが届かない他の地域に精神的支えとして広めたいと願った。やがて彼の活動は、福音主義運動の中心となっていった。現在は新訳聖書の教えを教会の新設を通して全世界に広める活動となっている。信者はアメリカ、カナダを中心に、世界の56の国と地域に広がっており、250万人以上いる。ローズヒル教会のホールにも世界各国に宣教にでかけた人達の顔写真入りのカードがたくさん置かれていた。またこの夏メキシコに新しい教会を作るためにボランティアで出かけた若者たちの報告スピーチも日曜礼拝の中で行なわれた。

7 2人の信念

インドネシアへ宣教に出かけた2人の顔写真入りのカードの裏には次のようなメッセージが書かれている。

"I tell you, open your eyes and look at the fields!

They are ripe for harvest." --- John 4:35

ニューギニアは2人にとっては「豊かな収穫」をもたらしてくれる地であった。35年間を過ごした思い出の地を離れる決心をさせたのは、「Go and stop!」の精神である。この言葉は食事の祈りをしている時に聞いた言葉である。後でベティさんがこの言葉の意味について話してくれた。子供たちが徒競争をする時に掛けるかけ声は「Ready, set, go!」である。しかしジョンさんのお母さんが病気になり世話を必要としていたため、神が私たちに「Ready, set, stop!」と言われた。宣教の仕事をやめてお母さんの世話をすることを選んだのである。それが「Go and stop!」の精神である。部族の人々との別れは本当に辛かった。しかし、宣教の仕事を思い切って「stop」することも必要だったのである。

8 最後に

教会とボランティア精神について調べようと思っていたのが、宣教師の方の貴重な経験を聞けることになった。一步踏み出す勇氣と人のために尽くす精神は実はとても謙虚な気持ちから来ている。ベティさんにすごく勇氣がありますねと言ったら、とんでもないと否定されてしまった。勇氣があるなんて思ったことはない。人を助けるとか、役に立ちたいという行動を支えるのは、教会ではなく「You choose.」であるという返事が返ってきた。「あなた自信の選択に任されている」と。教会は institute（組織）である。しかし行動はその人自身の choice（選択）である。「I dedicated my life to overseas. This is my choice.」（私は自分の人生を海外での宣教に捧げました。それが私の選択です。）そして別れ際に、インドネシアの部族の人のことばを現地語で書いてくださった。

"Nasi sudah jadi bubur 英語訳 "Rice already become mushy

Apa boleh buat?"

What may we do? (Nothing. It's already mushy.)

今回の研修でジョンさんとベティさんの話を聞いたことはとても幸運であった。

